

「みやこのじょうデジタルアーカイブ」公開スタート

今年度から構築を開始している「みやこのじょうデジタルアーカイブ」の一部を、3月28日（金）から公開します。

本アーカイブにより、都城島津邸が所蔵する約2万点の史料情報が、そのデジタル化も含め、誰でも利用できるようになります。



トップページ（部分）

●概要

本システムは、東京大学史料編纂所の画像公開システム「Hi-CAT-Plus」に加え、日本国内のあらゆるメタデータコンテンツを検索・閲覧・活用できるプラットフォーム「ジャパン・サーチ」と連携するなど、国内外で利用できるものです。

本格的な公開は令和7年度末を予定しており、史料情報データベースだけでなく、学校教育等において利用できる子ども向けのコンテンツも搭載し、より多くの方に活用いただけるような仕組みを構築していく予定です。



検索画面（部分）

○導入による効果

・誰でも史料情報や画像が閲覧可能

これまでは、史料情報や画像について、利用者から電話で問い合わせを受け、都城島津邸で確認後に情報を提供するなど時間を要していましたが、国立国会図書館が管理するプラットフォームを経由して公開されるので、誰でもすぐに利用することが可能です。

また、史料画像は、国際規格「IIIF（トリプルアイエフ）」対応（既に一部搭載）なので、高精細な画像をダウンロードすることができます。

・利用しやすいコンテンツを搭載

子どもや学校向けのコンテンツ搭載を予定しているので、研究者だけでなく広く利用できるアーカイブシステムになります。